

2016 年春号 研究室だより

卒業生、修了生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。2015 年度の西洋史学研究室の近況をご報告させていただきます。

本年度の教員スタッフは、山内昭人教授（インタナショナル史）、岡崎敦教授（フランス中世史・アーカイブズ学）の二名の先生方で構成されております。外部からは非常勤として熊本大学の中川順子准教授（近世イギリス史）、東亜大学の山本達夫准教授（ドイツ現代史）、福岡大学の森丈夫准教授（初期アメリカ史）の三名の先生方をお招きし、幅広い時代と地域をカバーする演習が開講されました。

多様なテーマを研究なされている先生方のご指導のもと、学部生・大学院生あわせて 16 名が日夜勉学に励んでおります。4 月には新 2 年生の川上達也くん、黒木麻衣さんが、そして社会人入学の岡龍三さんの三名が研究室の新たな一員として加わりました。また、本研究室の OG であり、日本学術振興会 PD として京都大学で研究をなさっていた大場はるかさんが専門研究員として西洋史学研究室に戻られました。ドイツと日本を行き来しながら日欧関係史の研究を進められている大場さんには、後輩として多くの刺激をいただいています。

国際的な研究発信という点では、岡崎先生が 5 月にパリの高等研究院（歴史学・書誌学部門）に客員教授として招聘され、4 回の講演をなさるなど、国内外でご活躍されています。加えて、フランス中世史の廻康輔くんはパリ第四大学に留学し、岡さんはアンティヴ国際センターのフランス語研修講座に参加しています。このように、本年度も西洋史学研究室は九州における西洋史学研究と国際的学術交流の拠点として、積極的に研究・教育活動を推進しております。

大学院においては、修士 2 年の松木美加（ドイツ環境史）が、夏の教育実習・教員採用試験を経て、2016 年度から関東の公立高校で歴史科教員として働くことが決まりました。また博士後期課程では、博士 3 年の高津智子（欧州統合史）が『史林』に論稿が掲載されたほか、村田学術振興財団の研究助成に採用されてアメリカでの史料調査を行い、来年中の博士論文提出を予定しています。同じく博士 3 年の大浜聖香子さん（フランス中世史）はベルギー留学から帰国後、その成果である論稿が『西洋史学』に掲載されるなど精力的に論文執筆に励んでおり、博士論文完成に向けて勤しんでおられます。また、フランス留学から帰国し、現在は熊本大学で非常勤講師を務めておられる法花津晃さん（フランス中世史）は九州西洋史学会若手部会の執行部メンバーとして学会運営をされながら、九州史学会での報告を行い、博士論文の大成に向けて研究に邁進されています。

本研究室主催の学会として、例年通り 12 月には九州史学会西洋史部会が開催され、多様な研究分野から多くの方々に参加いただき、大変活発な議論が行われました。また、本年度で退官される山内先生が、40 年以上にわたり発展させてこられたインタナショナル史研究を総括した「私のインタナショナル史研究——戦争と平和、そして革命の時代をめぐっ

て」のご報告をなさいました。長年熱心に学生をご指導くださった山内先生の退官は大変寂しくはありますが、研究室一同、先生の教えを受け継いでくことで少しでも恩返しになればと思っております。

最後に、研究室行事をお知らせいたします。4月には「進学式（専門分野決定式）」と「進学生歓迎コンパ」を楽しい雰囲気の中終え、夏休みのオープン・キャンパスや9月の「進学ガイダンス」では、来年度も多くの新たなメンバーを迎えられるよう、研究室が一丸となって西洋史学の魅力をアピールしました。日々の研究室では、卒業生が贈呈されたコーヒーマーカーを利用して淹れたコーヒーと共に、学生同士で研究・学生生活の意見交換をするなど切磋琢磨して過ごしております。

それでは末筆ながら、卒業生のみなさまのますますのご発展を心からお祈りいたします。

（文責 高津智子、松木美加）

新刊紹介

岡崎敦・臼井佐知子ほか『契約と紛争の比較史料学 ―中近世における社会秩序と文書』吉川弘文館、2014年。

岡崎敦ほか『過去を伝える、今を遺 ―歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか（史学会125周年リレーシンポジウム2014）』山川出版社、2015年。

熊野直樹ほか『「開戦前夜」のファシズムに抗して』かもがわ出版、2015年。

中堀博司ほか『国制史は躍動する』刀水書房、2015年

星乃治彦『台頭するドイツ左翼 ―共同と自己変革の力で』かもがわ出版、2014年。

山田雅彦、中堀博司ほか『コミュニケーションから読む中近世ヨーロッパ史』ミネルヴァ書房、2015年

（2016年1月7日追加）

MIYAMATSU, Hironori, *Le Polyptyque d'Irminon. Terre et commerce dans le monde franc*, Rennes, Les Perséides, 2015